



TEIKYO UNIV. EKIDEN 2017

帝京大学 駅伝競走部

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017 EKIDEN

SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017



帝京大学 駅伝競走部

TEIKYO UNIVERSITY EKIDEN CLUB

粘り強さ。

ひとつ耐えて、一步。
ひとつ耐えて、一步。
自らの意志で前進する。
その積み重ねが強い走りを生む。

伝統を昇華し、先代を超える。
その準備は整った。



イヤーズブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長

冲永佳史

ここ数年、新春の『東京箱根間往復大学駅伝競走』1区スタート地点である大手町で選手を見送り、新年の挨拶をクラブや関係者などと交わすことが恒例となっております。

往路1区の重責を担う本学ランナーの背中を、力の限りの“声のパワー”で押させていたくわけですが、同時に彼らのその雄姿を見届けることで、こちらが1年分の活力を充電させてもらう、そんな清々しい場ともなっております。

今年は、上位入賞を期待しておりましたが、残念ながら総合11位とシード権を逃す結果となりました。秋の『東京箱根間往復大学駅伝競走予選会』からのチャレンジとはなりますが、来年の1月2日に、また大手町でランナーを送り出し、新たな1年のスタートができることを期待したいと思います。

帝京大学 八王子キャンパス事務長

古張隆

最先端の機能性を取り入れた陸上競技場が新設され、練習環境はますます充実し、以前よりレベルを上げたトレーニングに動んでいる本学駅伝競走部ではありますが、近年、各大学が積極的な戦力強化に励んでいる駅伝競技において、今年1月に行われた『東京箱根間往復大学駅伝競走』では、総合11位で惜しくもシード権を逃し

てしまいました。しかしながら、一、二年生で拔擢された選手の快走している様子から、他の上位チームとの差は感じられませんでした。

新チームとなり、主要大会の出場をめざすこととなりますが『東京箱根間往復大学駅伝競走』の連続出場も含め、上位進出を可能なものとするため、走力・チーム力ともに高めてほしいと思います。

三大駅伝競技会での選手たちの躍進を祈念し、イヤーズブックの挨拶とさせていただきます。

帝京大学 八王子キャンパス
学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 室長

岡野静治

『第93回東京箱根間往復大学駅伝競走』では、本学駅伝競走部が目標としていた2年連続シード権の獲得を逃してしまいました。総合11位の順位でシード権にあと一歩という見方もありますが、前のチームとは「3分24秒」という大きなタイム差があり、距離では前を走る選手の姿が見えないほど離れてしまいました。

箱根駅伝では毎回熾烈な競走が繰り広げられ、応援する人はさまざまな感動の場面に一喜一憂する大会であります。その雰囲気を感じながら力走した本学の選手たちは、改めて勝負の厳しさを痛感したと思います。今年度の新しいチーム体制の中で、新入生の中には即戦力になる選手も在籍し、チームの選手層に厚みが出てきています。

主な練習場所である陸上競技場も新しくなり、充実したトレーニング環境が整いました。

各選手は、「来年こそリベンジ」と強い決意をもって日々のトレーニングで切磋琢磨し、まずは箱根駅伝予選会で本戦への出場権獲得を第一目標に捉え、つぎに本戦でシード権獲得をめざし、限界に挑む走力と精神力を本番で見せてもらえるものと期待します。



TEIKYO UNIVERSITY
SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017

「失敗はないんだ。なぜなら

成功するまでやるから」



選手の後姿を愛する男

「これは箱根駅伝に出場する20校の監督だけに許された特権なんです」。中野が言う特権とは、箱根駅伝で選手を追走する監督車から選手の後姿を眺めることをさす。普段は「きつい」と泣き言を言う選手が、レースのときは堂々としてとてもカッコいい。「特に四年生が走るときの背中は大さく感じます。ゴールが近づけば近づくほど切なくなるんだなあ」。来年の箱根駅伝も、中野監督は選手の後姿を追いつける。

駅伝競走部・監督
Takayuki Nakano

中野 孝行

■PROFILE

1963年生まれ。北海道出身。帝京大学スポーツ医科学センター専任講師。国士舘大学で箱根駅伝に4年連続出場。卒業後は雪印乳業に入社して、選手として活躍。引退後に三田工業女子陸上競技部コーチ、特別支援学校の教員、NEC陸上競技部のコーチを務めた。2005年に帝京大学駅伝競走部の監督に就任。現在に至る。

強い選手を育てる。

近年、大学駅伝の記録更新は加速度を増している。しかし、「本当に強い選手」は少ないと中野孝行監督は言う。その真意とは。

答えのない問題集を
ずっと作り続けている

トレーニング中は真剣な表情で選手に向き合う中野。しかし、一度トレーニングを離れば、柔らかな笑顔で選手と一緒にふざけ合うこともある。決して頭ごなしに答えを押し付けることはない。中野という指導者は実に奥が深い。「記録にもいろいろあります。好条件の環境で出したのか、プレッシャーのかかる試合で出したのか。記録は速いけど、箱根駅伝などの大きなレースになると良いタイムが出ない。そういう選手が本当に多いと感じています」

帝京大学駅伝競走部は記録ではなく勝つことをめざす。記録はあとからついてくる。本当に強い選手を育てるために、普段から試合を想定してプレッシャーをかけることもある。しかし、強い選手を育てるために中野が一番気を付けているのは「答えを出さないこと」だ。

「答えを出せないと言ったほうが正確だと思う。選手の答えは私が作るものではなく、私にできることは本人が答えにたどり着くように導いてあげることしかない」

ルールを敷いたり、答えを固めて選手に提示することである程度は成功するかもしれない。しかし、指導歴を重ねるに連れ、それは選手の可能性を阻害することになる

して、失敗し苦労して、ようやく結果にたどり着く。それが本当の強さです」

中野が選手に対して安易に答えを与えないのは、失敗して苦労する過程を選手に経験してほしいからだろう。

「答えを出さない指導を続けてきた結果、彼らが少しずつ答えを探すようになってきたと感じています。以前は迷走しているだけでしたが、今は少しずつ歩やけてはいるものの、彼ら自身の答えが見えてきたのかと思います」

中野の仕事は、「魚を釣って料理して食べさせてあげることではない」と言う。竿と網だけ持ってきて、魚を釣ってくる選択肢を与えるだけで良いのだ。

「川に魚を釣りに行けば、海に行けばもっと美味しい魚が釣れるんじゃないかと考えるかもしれない。この餌よりこっちの餌のほうが美味しい魚を釣れる、というように少しずつ成長していくでしょう。そういう育て方をめざしています」

頑張っても頑張りが悪ければ、周りは評価してくれない。それは社会に出れば誰もが痛感することだ。「頑張ること」を強いてしまうと、頑張りがどこを学ぶ機会を奪ってしまいかねない。だから中野は、頑張りどころの大切さを強調する。

「よし、今日は頑張った、という

と感ずるようになった。

「ずっと答えのない問題集を作り続けているのかな。だから苦しいです。答えがないのですから。選手一人ひとりに違う問題を出しても良いと思っています。それが社会に出たときに生きるはず。トレーニングを苦しいと感じているうちは、やらされていると感じている。このトレーニングを積み重ね強くなれるんだと思えたときに、本当に強くなる。それは彼らが選ぶことです」

強くなるか、なれないか。それは選手の選択にかかっている。だからこそ、中野はしっかりと準備をして、選択する機会を与える。

「選手がどちらを選択しても、私には正解がわかりません。そして失敗はないと思っています。なぜなら、成功するまでやるから」

たとえば、中野は選手に極限まで負荷をかけた状態で、「ここで離れるか、離れないか、どっちか選べ」と迫ることがある。たとえば、ここで離れる選択をしたとしても、それは失敗ではない。なぜなら、離れたことを後悔することができるからだ。そこで後悔できる選手もまた、強くなるだろう。

少しずつ選手たちが
答えを探し始めてきた

「誰だって結果を出したいんです。結果を出すためにチャレンジ

自己評価は、社会に出てからあまり通用しません。会社は、社長や上司に評価してもらったところ。頑張りどころはどこなんだ。選手には常にそう呼び掛けています」

箱根駅伝
3位以内をめざして

今年度の目標は、箱根駅伝3位以内。主力選手2名を欠いて挑んだ全日本大学駅伝の予選会は、堂々たる走りを通した。

「箱根駅伝での、帝京大学の歴代最高順位が4位。この記録を塗り替えることができなければ、先代たちに失礼だと思っています」

チームの地力が飛躍的に伸びた今年、先代たちの記録を塗り替える条件は整ったといえる。

END



「力がついてきた今年度は、箱根駅伝3位が目標」

伸び悩んでいる選手に
声を掛ける

当たり前だが、選手同士の競争も激しく、誰一人としてレギュラーの座は保証されていない。主将を務める小手川は、自身を「走り引で引っ張れるタイプではない」という。

「怪我で出遅れたこともあり、走り引で引っ張ることはできません。自分ができるのは、チーム全体を見ながら一つの目標に取り組んでいけるように導くことです。例えば、

下のカテゴリーで伸び悩んでいる選手にも声を掛ける、といったことです」

周囲に対する気遣いで部員からの信頼を得た小手川。その興味深い取り組みの一つがグループワークだ。

「週に1回、何人かのグループで集まり、練習を振り返ったり合宿所の生活を報告し合っています。気になる点や自分の状況を話し合い、意識が下がりがちな選手も引き上げられるようにしています。意識が高い人の考えに触れれば、

それにつられて高められるので」

グループワークに取り組むきっかけとなったのが、今年の箱根駅伝だった。帝京大学は総合11位。シード権を得ることができなかった。レギュラーの意識だけが高く、メンバー外の選手たちのモチベーションが下がってしまったことが原因だと、小手川は感じた。

「グループワークは去年もありましたが、長続きしませんでした。しかし、チームの底上げには必要なことだと思ったんです。走れる選手だけに頼った結果が前回大会

【4年・主将】

小手川 智紀

Tomonori Kotegawa

主将の挑戦

帝京大学駅伝競走部の主将を務める小手川智紀は今、一定の手応えを感じている。箱根駅伝でも上位を狙える力が備わりつつあるチームのために全力を注ぐ。挑戦はまだ始まったばかりだ。

の11位。違う方向に意識が向いている選手を全員で修正する必要がある。学年がバラバラになるようにメンバーを組んで、上級生が下級生にアドバイスできる体制を作っています」

主将の努力は実を結び、一年生からは「明るい雰囲気、先輩が優しく接してくれる」とのコメントも出ている。手応えを得た小手川は、今季の具体的な目標を話してくれた。

「今年度の箱根駅伝は3位が目標です。これまではシード権を争う

10位が目標でしたが、チーム全体の力がついてきたので、一歩前進して上位争いをするときです。個人的には6区を狙っています。昨年、一昨年は怪我で出られなかったのが、主将としてチームに貢献したいです。下級生たちも力をつけていますし、調子を戻すだけでは不十分。そこから積み上げる必要があります」

今までは違う形を構築し、自分なりのやり方でチームに変化をもたらそうとしている。その変化の種は、正月の箱根で花開く。

注目選手 Pick Up!

帝京大学駅伝競走部を代表する主力選手たち。箱根駅伝出場に向け、心も身体も充実する8名の選手に、それぞれの思いを語ってもらった。

「来年の箱根駅伝は1区や2区で トップ選手と勝負したい」

辛かった箱根駅伝の経験を
バネに成長したい

2017年の箱根駅伝は、思っていた以上に重圧がありました。周りの応援も普段以上で、あまり連絡しない人もメッセージをくれて、それがプレッシャーになりました。当日は食事もほとんど摂れなかったです。5区で自分が失速してしまい、チームの流れを止めてしまった責任を未だに感じています。ただ、その分やらなければいけないことを見つけた大会もありました。辛かった箱根駅伝の経験に比べたら、普段の練習も自主練も耐えられますし、もしその姿勢を見せることでチームのみんな

に伝われば、それは嬉しいですね。

帝京大学の良いところは、メリハリを持ちつつ、後輩からフランクに話しかけられたり、アドバイスをしたりできることです。自分でペースやグループを決めることができ、コンディショニングも選手に一任されています。日頃から監督が選手に任せてくれるので、それが試合に活かされています。

来年の箱根駅伝も、出るだけでは同じことになってしまいます。トップの選手に比べれば、まだまだ勝負になりません。努力し続けて、いかにそこに近づくか。来年は1区や2区を走って、他のトップ選手と争えるようになりたいですね。

【4年・副主将】

佐藤 諒太

Ryota Sato

「帝京大学を優勝に導く
走りを見せたい」

【1年】

小野寺 悠

Haruka Onodera

監督に話し掛けるのも
自分から(小野寺)

ここは「常に明るいチーム」ですね。ふざけているわけではなく、一つの大きな輪としてまとまっている感じです。高校生と違って大学生は大人ですし、チームの一員になれるか不安はありましたが、先輩たちは優しく接してくれるのでとてもやりやすいです。

大学生になると自分からアクションを起こすことが大切です。監督に話し掛けるのも自分から。それができないと上には上がっていきません。中学校の先輩が青山学院大学で箱根駅伝に出場し、その姿を見て「ここで走りたい」と思いましたね。区間賞だったり、帝京大学を優勝に導く走りを見せたいです。

「自分より速い選手が
身近にいることが
ありがたい」

【1年】

星 岳

Gaku Hoshi

勝負に学年は関係ないので
遠慮はない(星)

高校生のときと比べると練習量が圧倒的に多いと感じています。今、調子が良いのは周りに引っ張ってもらえているからだと思います。自分より速い選手がいると自分の意識も変わるので、そういう存在が身近にいるのはありがたいことです。勝負に学年は関係ないので遠慮はありませんが、やはり同じ学年の選手のタイムが気になります。同じチーム、同じ学年の選手は一番のライバルですね。箱根駅伝をめざして陸上を始めたので、そこで勝負したい思いは強いです。区間賞、チームの優勝に繋げられる選手にならなければいけません。一年目から出場して、結果を出したいです。



「合宿の辛さに比べれば、
まだいけると思える」

【2年】

田村 岳士

Takeshi Tamura

短い距離よりも長い距離を走れる選手になりたい

大学に入って、食事の面の改善などを教えてもらいました。自分も足を痛めて休むときがあった、そのときに早く治してすぐ復帰しなければと焦ってしまうこともありました。足が痛くても勢いでなんとかしようとするところがあります。

短い距離から長い距離まで速いと言われることもありますが、自分としては、短い距離よりも長い距離が走れる選手になりたいので、しっかりと距離を踏んで、信頼される選手になりたいです。

去年の合宿は、人生で一番きつかったです。以来、「合宿の辛さに比べればまだいける」と思えるようになりました。スピード練習とか距離走とかいろいろありますが、苦しくなったときに大切なのは気持ちだと思っています。

今年の予選会は選手としてしっかり走って、前回の箱根駅伝でメンバー入りしたものの、走ることができなかった悔しさを晴らしたいです。今年度は6区をめざして走れるように頑張ります。

僕は帝京大学を選んで間違いないかなって思っています。環境は整っているし、絶対に伸びるはずですよ。



「3部練を継続すると
走れるようになる」

【2年】

島 貫 温 太

Atsuto Shimanuki

休むときは休んでメリハリをつける

昨年の全日本大学駅伝の予選会で初めて試合に出たのですが、脱水症状で身体が動かなくなってしまうのは苦い経験です。走っている最中から申し訳ない気持ちでいっぱいでした。夏合宿の最後に左の脛骨を疲労骨折してしまったのですが箱根駅伝のメンバーに入ってもらいました。入部当初から「チャンスだぞ」と言われていましたが、活かすことができませんでした。正直「なにを期待しているんだろう」と思っていました。合宿から、「気持ち弱いな」と監督に言われていましたが、「気持ちが弱いと言われているとまあ」と

思っていました。それでも今年に入ってから、後半きつくなっても、意外と気持ちで粘ることが多くなったので、「ああ、粘れば後半動かし、タイムもついてくるんだな」と監督の言葉を今は実感しています。3部練を集中して行う期間があるんですが、継続することで怪我せずに走れるようになったんです。

休むときは休んで、やるときはやるというメリハリをつけることは意識しています。箱根駅伝に出るために予選会を通過することをチームの目標にしています。チームで3位以内で走り抜きたい。箱根駅伝では、1区など主要区間で勝負したいです。

END



「前回の箱根駅伝では、
負けず嫌いな性格が功を奏した」

「前回の箱根駅伝は
楽しく走れた」

「自分もやるしかない
と開き直れた」

【3年】

畔上 和 弥

Kazuya Azegami

【3年】

濱 川 駿

Shun Hamakawa

【3年】

竹 下 凱

Kai Takeshita

前回の箱根駅伝を乗り越えて
上手くいった理由

濱川「前回の箱根駅伝は、走る前は緊張しましたが、走ってみると沿道のお客さんが応援してくれたので楽しかったです」

竹下「3区を思いっきり楽しそうに走ってたよな」

畔上「濱川が思ったよりも速く走ってきたおかげで、4区で棒を受け取った僕も、その流れに乗ってとても楽しく走れました。去年はずっと不調だったのでかなり不安だったのですが、中盤から落ちて自分のリズムで走ることができました」

濱川「箱根駅伝までの練習が、継続して良いリズムでできていたの、その練習で培った自信が大きいと思います」

畔上「自分は濱川と逆でした。個人的には練習が全然良くなかったのですが、1区から3区までがしっかりと繋いでできてくれて、良い流れを持ってきてくれたので、自分もやるしかないって開き直れたのが良かったです」

竹下「自分は夏合宿で故障して出雲駅伝に出られずに、チームに迷惑をかけました。全日本大学駅伝でも1区を走らせてもらったのに良くも悪くもない内容で、箱根駅伝に挑むにあたって不安だらけでした。その中でも落ち着いて走ることができたかなと思います」

エース竹下を中心に
個性的で楽しい学年

竹下「自分は高校二年生までサッカー部で、そこから陸上の世界に足を踏み入れました。大学に入った当初は、意識の違いをすごく感じましたね。高校からトレーニングを積み重ねてきている人が多い。何よりみんな走るのが好きなんだなというのを感じました」

濱川「もっとストレートに言いなよ（笑）」

竹下「なんでみんなそんなに一生懸命になって走っているのかなと思いました（笑）」

畔上「高校三年生の頃、帝京大学の練習に参加したときに竹下に初めて会ったんですけど、サッカー部のジャージを着たやつが体操中に話し掛けてきたんです。それが先輩にバレーで喋るな」って怒られていたよな」

竹下「そんなことあったな」

濱川「みんな試合に向けて食事も考えながらピリピリしている中、竹下は調整も適当にやって食事も自分の食べたい物を食べているので、ああ、こいつはぶっ飛んでいるなと思いました」

竹下「おい（笑）。失敗したらどうしようという不安はありますが、それ以上に自分が良い順位で繋がったときに、次のランナーも良いペースで走ってくれたら嬉しくなります」



駅伝競走部・コーチ

町田 勇樹

Yuki Machida

「箱根駅伝で優勝したい」。優しさを携えた目を輝かせて、町田勇樹コーチはそう語る。そのために最も必要なもの、それは帝京大学の持ち味である“粘り強さ”の根源だった。

「人間的な強さを磨くことが
速く走るための近道」

監督と選手のパイプ役として
もっと噛み砕いて伝える

2017年1月3日。帝京大学駅伝競走部は、箱根の地で総合11位でゴールを切る。この結果、2018年度の同大会シード権を獲得できなかった。

そんな状況にもかかわらず、スタッフや選手は前を向き、「シード権争いよりもさらに上のレースを展開したい」と一様に語る。それはただの強がりではなく、チームの中に一貫した考えが浸透しているからだ。

初めに着手したのは、競技面よりも人間的側面の見直しだった。自身も箱根駅伝優勝を経験している町田勇樹コーチは、選手時代を振り返りながら語った。

「私が駅伝を通して学んだのは、人として強くなることです。日本体育大学四年時の箱根駅伝で優勝しましたが、その前年は19位と過去最低でした。やることは変えなかったのに結果が出たのはなぜだろうと考えると、基礎の基礎から徹底したことが理由だと思ったんです。掃除、挨拶など、人間的な部分から見直しました。そこがちゃんとしていれば、周りが応援してくれるんですよ。本番の粘り強さは、周りからの応援や、小さな積み重ねがモノを言います。今はトレーニングもどんどん新しい方法が生まれていて、速く走る

方法を効率的に追求しています
が、そればかりだと粘りが出てこないと思います」

そんなチームにあって、町田の役割や指導法はどんなものなのか？ 本人に聞いてみると、「特に自分の指導法と言えるものはないんですよ」と笑った。

「僕はチーム内ではパイプ役ですね。監督と選手やマネージャーを繋ぐ役です。監督が言っていることを噛み砕いて伝えます。ただ、監督自身も上手にコミュニケーションをとれる方なので、間に入る感じではないですね。監督は『町田のやり方で指導してくれ』と言ってくれますが、僕は特に指導法は決めていないんです。固定観念を持ちたくないし、まだまだわからないことだらけです」

そして、町田は来年の箱根駅伝に目を向けた。

「優勝したいですね。現状からステップアップするためには選手の自立が必要です。選手自身が『自分がいかに強くなるか』を考え、必要なトレーニングを採り入れられるか。そのための環境と時間は与えられています。私の仕事は、その自立した姿勢が出てくるように選手たちをサポートすることです」

そう語る町田の優しい目からは、選手への愛情、深く謙虚で大きな心、そして何より町田自身の自立心が感じられた。

END

佐藤主務が語る 箱根駅伝の見どころMAP

来年の箱根駅伝で3位を狙う帝京大学。普段は駅伝を見ることがない人でも、お正月の箱根駅伝だけは観戦するという人も多いのではないだろうか。今回は箱根駅伝をさらに楽しむために、佐藤凌平主務に見どころを解説してもらった。

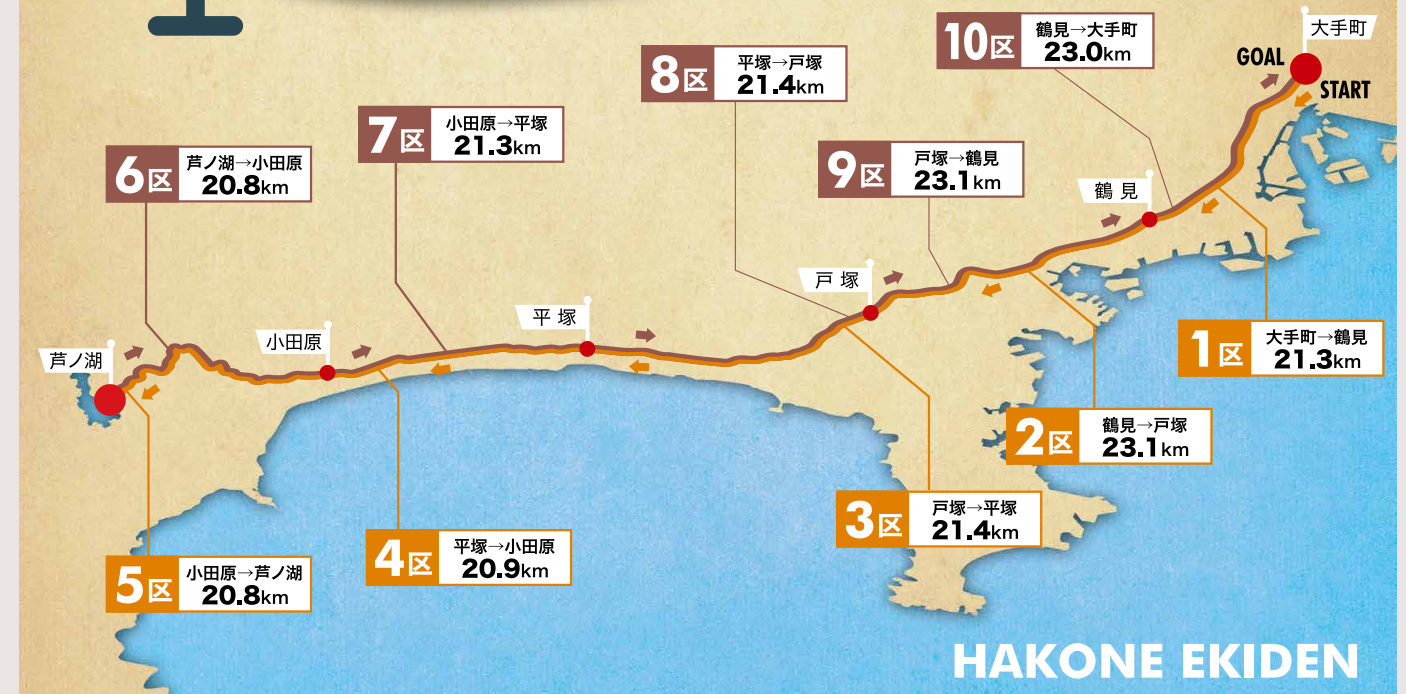
3年・主務 佐藤 凌平 Ryohei Sato



箱根駅伝がもっと楽しくなる3つのポイント



- 1 速さよりも強さを見よう
- 2 3、4、7区も気を抜くな
- 3 帝京大学の粘り強い走りを見逃すな



全区间が重要な箱根駅伝
捨てられる区間なんてない

1区は比較的平坦な道のりです。年によってスローペースだったり、ハイペースだったりします。そもそも1区で良い順位にいないと2区で競えないので、駅伝の流れを作る重要な区間だと思います。

2区は一番苦労した選手が走るイメージを持っています。苦しい経験乗り越えた人が強さを発揮する。前回苦しんだ佐藤諒太さんに走ってほしいです。

3区は走りやすいと言われています。アップダウンはありますが大きなものはありません。途中で海岸線に出て風が強ければ苦しい展開が予想されます。

帝京大学が昔から力を入れている4区。往路のアンカーである5区に繋げるためにも重要性は高いと思います。

5区は優勝を左右するほど重要な区間です。タフな選手が向いているでしょう。

6区は下りに入ったときに思い切り良くエンジンをかけることがカギになります。

7区も重要な区間です。混戦の中で競り合いながら前に出て行ける選手が向いています。

8区は難所と言われる遊行寺の坂まで力を温存することが大切。頭の良い選手が向いています。

9区は距離が長く復路のエース区間と言われています。

10区は軽視されがちですが、アンカーとしての緊張に耐えて、気温の変化などにも対応してしっかり走りきる選手が向いているでしょう。

END



TOPICS

帝京大学駅伝競走部が 盲人マラソンをサポートする

帝京大学駅伝競走部では、視覚障害ランナーのサポートを行っている。週に一度のペースで盲人マラソンの練習に伴走者として参加しており、2017年4月8日(土)～10日(月)に行われた強化合宿にも帯同した。

全国に1000人以上いる視覚障害ランナーのフルマラソン競技では、多くの選手が伴走者を必要としている。しかし、現在活動している伴走者は、視覚障害ランナーの1/3程度。帝京大学駅伝競走部では、日本盲人マラソン協会からの依頼を受け、社会貢献の一貫としてパラリンピック出場をめざす視覚障害ランナーのサポートを続けている。足取りや声で相手の走りをコントロールする伴走者には、気配りや配慮する力が養われる。参加する選手たちにとっても刺激となっている。



ウルトラマラソンで帝京大学OBが 歴代2位の記録で優勝

2017年6月25日(日)に北海道北見市で行われた「第32回サロマ湖100kmウルトラマラソン」。同大会で、帝京大学駅伝競走部OBの板垣辰矢選手が2連覇を果たした。タイムは、世界記録に45秒差まで迫る6時間14分18秒。世界歴代2位に名を刻んだ。来年行われる「IAU100km世界選手権」に向けて、日本代表選手を選考する目的もあった同大会。今回の結果を受けて、板垣選手は日本代表候補にも選出された。



TEIKYO

EKIDEN

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL
YEARBOOK 2017

2016～2017
TOURNAMENT & TRAINING





EKIDEN Players List 2017

2017年 帝京大学 駅伝競走部 プレイヤーズリスト



PROFILE 氏名
学部・学科
出身校／出身地
身長／体重
①帝京大学駅伝競走部の良いところ
②マイブーム
③座右の銘
④自己ベスト(5000m/10000m)
⑤目標

3年生 3rd Grade EKIDEN Players List

竹下 凱
Kai Takeshita
医療技術学部スポーツ医療学科
常葉学園橋高／静岡県
168cm/51kg
①仲の良いところ ②ハンドスピナー ③努力は裏切らない ④5000m:14分03秒 10000m:29分10秒 ⑤有名ランナーになる

齋藤 慎
Shin Saito
医療技術学部スポーツ医療学科
伊勢崎商業高／群馬県
170cm/55kg
①白米を沢山食べるところ ②MONSTER ENERGYを飲むこと ③磨き針 ④5000m:14分20秒 10000m:31分58秒 ⑤主力で戦える選手になる

大塚 瑞季
Mizuki Otsuka
医療技術学部スポーツ医療学科
白鷺大学足利高／群馬県
175cm/59kg
①上下関係が良いところ ②ミロを飲むこと ③努力 ④5000m:14分30秒 10000m:30分45秒 ⑤チームを引っ張れる存在になる

吉田 将人
Masato Yoshida
医療技術学部スポーツ医療学科
鯖江高／福井県
175cm/58kg
①居心地が良いところ ②ブラックサンダー ③自律、自立 ④5000m:14分47秒 10000m:31分35秒 ⑥箱根駅伝5区を走る

長山 奨
Sho Nagayama
医療技術学部スポーツ医療学科
那須拓殖高／栃木県
182cm/70kg
①全学年仲が良いところ ②コーヒーの飲み比べ ③目は高く 頭は低く 心は広く ④5000m:15分09秒 10000m:-分-秒 ⑤好きなこと、興味があることを突き詰める

佐藤 凌平
Ryohei Sato
教育学部教育文化学科
住吉高／神奈川県
172cm/63kg
①ここぞという時の団結力 ②一眼レフカメラ ③目配り気配り心配り ④5000m:15分33秒 10000m:32分53秒 ⑤帝京大学史上最高のマネジメントをする!!

橋高 健一
Kenichi Kittaka
医療技術学部スポーツ医療学科
興譲館高／広島県
167cm/54kg
①明るいうち ②キングダム ③コッソリは勝つコッソリ ④5000m:14分46秒 10000m:30分19秒 ⑤自分の船を持つ

畔上 和弥
Kazuya Azegami
医療技術学部スポーツ医療学科
関根学園高／新潟県
171cm/55kg
①先輩後輩の仲が良いところ ②モンスターストライク ③勝つことは偶然じゃない ④5000m:14分11秒 10000m:29分17秒 ⑥箱根駅伝2区で区間10位以内

渡辺 貴裕
Takahiro Watanabe
医療技術学部スポーツ医療学科
倉敷高／広島県
172cm/56kg
①仲が良いところ ②カメラ ③協心戮力 ④5000m:14分22秒 10000m:29分39秒 ⑤温かい家庭を築く(子供2人、愛犬1匹)

新関 友基
Yuki Niizeki
医療技術学部スポーツ医療学科
札幌山の手高／北海道
172cm/55kg
①みんな優しいところ ②読書 ③日進月歩 ④5000m:14分08秒 10000m:29分38秒 ⑥箱根駅伝で区間賞

砂賀 正輝
Masaki Sunaga
医療技術学部スポーツ医療学科
前橋育英高／群馬県
165cm/58kg
①全員が部員のことを考えられるところ ②良い匂いの物を集めること ③努力の上に花は咲く ④5000m:14分36秒 10000m:30分29秒 ⑥全種目自己ベスト

幸崎 一聖
Issei Kosaki
医療技術学部スポーツ医療学科
清風高／大阪府
170cm/53kg
①仲が良いところ ②日本語ラップ ③いけたらいく ④5000m:14分36秒 10000m:30分02秒 ⑥箱根駅伝に出て結果を出す

阿部 有希
Yuki Abe
医療技術学部スポーツ医療学科
東京農業大学第二高／群馬県
168cm/59kg
①個性豊かなところ ②耳かき ③不撓不屈 ④5000m:14分46秒 10000m:30分57秒 ⑥10000mを29分50秒で走る

仁平 翔
Kakeru Nihei
医療技術学部スポーツ医療学科
佐野日大高／栃木県
175cm/60kg
①みんな良い人 ②将棋 ③人生は一局の将棋なり、指し直す能わず ④5000m:14分43秒 10000m:30分49秒 ⑤何かを成し遂げる

高村 敦史
Atsushi Takamura
教育学部教育文化学科
武蔵越生高／埼玉県
162cm/48kg
①元気があるところ ②映画鑑賞 ③人間本気になれば大差なし ④5000m:14分54秒 10000m:32分02秒 ⑥箱根駅伝出走、保健体育教員

小林 誠
Makoto Kobayashi
医療技術学部スポーツ医療学科
中之条高／群馬県
169cm/54kg
①先輩、後輩の仲が良いところ ②2048 ③自分を信じない奴なんかは努力する価値はない!!! ④5000m:14分39秒 10000m:29分57秒 ⑥箱根駅伝を走る

井手 優太
Yuta Ide
医療技術学部スポーツ医療学科
鎮西学院高／長崎県
175cm/57kg
①みんな仲が良く、互いに高め合っているところ ②ココアを飲むこと ③人間力を高める ④5000m:14分44秒 10000m:30分52秒 ⑤幸せになる

細井 優太
Yuta Hosoi
医療技術学部スポーツ医療学科
豊川工業高／愛知県
167cm/55kg
①元気があるところ ②ボイスパーカッション ③笑う門には福来る ④5000m:15分18秒 10000m:-分-秒 ⑤面白い人間になる

田中 祐次
Yuji Tanaka
医療技術学部スポーツ医療学科
遊学館高／石川県
175cm/62kg
①仲が良いところ ②練習後の筋肉をほめる ③期待は裏切れる、予想は越える ④5000m:14分19秒 10000m:29分48秒 ⑥箱根駅伝を走る

小手川 智紀
Tomonori Kotegawa
医療技術学部スポーツ医療学科
純真高／福岡県
170cm/57kg
①縦、横の繋がりがしっかりしていて雰囲気の良いところ ②ハンドスピナーをまわすこと ③心>身体 ④5000m:14分30秒 10000m:29分53秒 ⑥箱根駅伝で3位に入る

井田 湧希
Yuki Ida
医療技術学部スポーツ医療学科
西脇工業高／京都府
177cm/62kg
①仲が良いところ ②革の小物を集めること ③捲土重来 ④5000m:14分34秒 10000m:30分03秒 ⑥箱根駅伝を走る

4年生 4th Grade EKIDEN Players List

幸村 亮太
Ryota Yukimura
医療技術学部スポーツ医療学科
九州学院高／熊本県
173cm/60kg
①学年関係なく仲が良いところ ②逆立ちをするところ ③死ぬこと以外はかすり傷 ④5000m:14分52秒 10000m:-分-秒 ⑤悔いの少ない日々を過ごす

長瀬 凌太
Ryota Nagase
医療技術学部スポーツ医療学科
鎮西学院高／長崎県
167cm/54kg
①色とりどりなところ ②マッスル系の動画を観ること ③好死は悪活に如かず ④5000m:14分32秒 10000m:30分52秒 ⑤自己ベスト更新

佐藤 諒太
Ryota Sato
医療技術学部スポーツ医療学科
柏日体高／千葉県
172cm/56kg
①先輩後輩関係なく何でも言い合えるところ ②ジャッキー・チェンのスゴ技集を見る ③どんなに努力してもダメなところ ④5000m:14分12秒 10000m:29分15秒 ⑥箱根駅伝区間賞

沖 成仁
Narihito Oki
医療技術学部スポーツ医療学科
八戸学院光星高／青森県
174cm/60kg
①仲が良いところ ②ラプライブ! サンシャイン!! スクフェス(音楽ゲーム) ③何事も楽しめ! ④5000m:14分49秒 10000m:30分40秒 ⑥箱根駅伝のメンバーに選ばれよう頑張る

安藤 聡
Satoshi Ando
医療技術学部スポーツ医療学科
大分東明高／大分県
177cm/60kg
①元気なところ ②読書 ③練習で泣いて本番で笑う ④5000m:14分34秒 10000m:30分24秒 ⑤人々に感動を



Yuto Watanabe
医療技術学部スポーツ医療学科
東北高／宮城県
172cm／57kg
①勢屈が良いところ ②飽を食べること ③やりたいことはすぐやる
④5000m：14分41秒 10000m：-分・秒 ⑤速いではなく、強い選手になる



Ippei Mori
医療技術学部スポーツ医療学科
諫早高／長崎県
179cm／70kg
①仲が良いところ ②料理 ③七転び八起き ④5000m：15分22秒 10000m：-分・秒 ⑤倒れないマネージャーになる



Tomoya Hinohara
医療技術学部スポーツ医療学科
伊勢崎商業高／群馬県
170cm／61kg
①仲が良いところ ②音楽鑑賞 ③終わりが良ければ全てよし ④5000m：14分28秒 10000m：29分51秒 ⑤ケガをしない身体作りをする



Taku Suzuki
医療技術学部スポーツ医療学科
浜松日体高／静岡県
168cm／58kg
①明るいところ ②映画鑑賞 ③諦めたらそこで試合終了 ④5000m：14分55秒 10000m：-分・秒 ⑤チームの戦力になること



Sho Amasaki
経済学部経済学科
世羅高／広島県
174cm／57kg
①アットホームなところ ②映画鑑賞、ツムツム ③初志貫徹 ④5000m：15分02秒 10000m：-分・秒 ⑤一つの物事に真摯に取り組む力をつける



Koshiro Hirata
医療技術学部スポーツ医療学科
久御山高／京都府
176cm／52kg
①みんな優しいところ ②YouTubeを見る ③継続は力なり ④5000m：14分16秒 10000m：29分38秒 ⑤5000m、10000mで自己ベスト更新



Joya Tamura
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高／千葉県
177cm／59kg
①他の部活に長距離走では負けないところ ②ショートカット ③諦めることを諦める ④5000m：14分33秒 10000m：30分57秒 ⑤箱根駅伝を給水でなく走る



Yutaro Goto
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高／千葉県
175cm／59kg
①元気いっぱいなところ ②ヤクルトスワローズ ③リセット and スイッチ ④5000m：14分32秒 10000m：-分・秒 ⑤箱根駅伝で絶対貢献する!!



Shun Hamakawa
医療技術学部スポーツ医療学科
米子松蔭高／鳥取県
175cm／55kg
①仲が良いところ ②キレートレモンを飲むこと ③笑う門には福来る ④5000m：14分11秒 10000m：29分47秒 ⑤立派な大人になる



Toshiki Yamazaki
医療技術学部スポーツ医療学科
相洋高／神奈川県
169cm／55kg
①いつも元気があるところ ②映画鑑賞、ツムツム ③自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ ④5000m：15分45秒 10000m：-分・秒 ⑤体型を維持する



Kent Fukushima
医療技術学部スポーツ医療学科
武蔵越生高／埼玉県
177cm／64kg
①チームワークが良いところ ②大人とのメールのやりとり ③練習は嘘をつかない ④5000m：14分37秒 10000m：-分・秒 ④アスレティックトレーナーになる



Ryo Tanimura
医療技術学部スポーツ医療学科
西京高／山口県
168cm／53kg
①合宿所がきれいなところ ②アビスリウム ③情けは人の為ならず ④5000m：14分22秒 10000m：30分18秒 ⑤地元のロードレースのゲストランナーになること



Sho Amasaki
経済学部経済学科
世羅高／広島県
174cm／57kg
①アットホームなところ ②映画鑑賞、ツムツム ③初志貫徹 ④5000m：15分02秒 10000m：-分・秒 ⑤一つの物事に真摯に取り組む力をつける



Akira Masamitsu
医療技術学部スポーツ医療学科
西条農業高／広島県
170cm／55kg
①仲が良いところ ②夜の散歩 ③人生はマラソンという一つのドラマである ④5000m：14分21秒 10000m：30分59秒 ④ケガせず練習継続



Takeshi Tamura
医療技術学部スポーツ医療学科
東京学館新潟高／新潟県
174cm／48kg
①みんな面白いところ ②英会話 ③感謝の気持ちを走りに表す ④5000m：14分21秒 10000m：29分42秒 ⑤英検1級を取得する



Banshu Kobayashi
医療技術学部スポーツ医療学科
十日町高／新潟県
174cm／60kg
①勢屈が良いところ ②漫画を読むこと ③常に己に究つ ④5000m：14分40秒 10000m：30分48秒 ⑤10000mで29分台



Hiroki Adachi
法学部法律学科
加藤学園高／静岡県
165cm／53kg
①みんな仲が良いところ ②ツムツム ③情熱を持つ ④5000m：14分48秒 10000m：-分・秒 ⑤14分30秒台で走る



Shunya Hiramoto
医療技術学部スポーツ医療学科
那須拓陽高／栃木県
176cm／58kg
①仲が良すぎるところ ②ハムちゃん ③「今」が一番幸せ ④5000m：14分40秒 10000m：31分37秒 ⑤良いババになる



Koki Yamane
医療技術学部スポーツ医療学科
和歌山北高／和歌山県
169cm／51kg
①自主性があるところ ②ココアを飲むこと ③一生懸命 ④5000m：14分49秒 10000m：-分・秒 ⑤箱根駅伝出場



Gaku Hoshi
医療技術学部スポーツ医療学科
明成高／宮城県
163cm／49kg
①明るくて元気なところ ②アーモンドフィッシュを食べること ③行動で示す ④5000m：14分14秒 10000m：29分30秒 ⑤箱根駅伝優勝



Yuki Torikai
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高／千葉県
175cm／63kg
①明るいところ ②音楽鑑賞 ③有言実行 ④5000m：14分31秒 10000m：30分11秒 ⑤箱根駅伝優勝



Haruka Onodera
法学部法律学科
加藤学園高／静岡県
171cm／56kg
①常に明るいところ ②ゲーム ③必死に生きてこそ、その生涯は光を放つ ④5000m：14分12秒 10000m：29分33秒 ⑤箱根駅伝優勝



Takaki Yoshida
医療技術学部スポーツ医療学科
八戸学院光星高／青森県
163cm／53kg
①穏やかなところ ②いろいろなかーヒーを飲むこと ③好きなことで生きていく ④5000m：14分32秒 10000m：30分17秒 ⑤三大駅伝で結果を残す



Soichiro Nakae
医療技術学部スポーツ医療学科
清風高／大阪府
177cm／55kg
①みんな仲が良いところ ②ツムツム ③やられたらやり返す、倍返しだ!! ④5000m：14分44秒 10000m：31分27秒 ⑤学年の平均タイムを上げる



Ryota Komori
医療技術学部スポーツ医療学科
いなべ総合学園高／三重県
170cm／53kg
①仲が良いところ ②録画したドラマを観ること ③ー ④5000m：14分32秒 10000m：-分・秒 ⑤箱根駅伝出場



Issei Iwasa
医療技術学部スポーツ医療学科
徳島科学技術高／徳島県
167cm／55kg
①自由にやらせてくれるところ ②音楽ネットサーフィン ③NO MUSIC NO LIFE ④5000m：14分10秒 10000m：29分19秒 ⑤箱根駅伝で2区を走って優勝



Hirohito Yokoi
医療技術学部スポーツ医療学科
津島高／愛知県
158cm／48kg
①学年間の壁が少ないところ ②FPSゲーム ③成功するまであきらめない ④5000m：14分29秒 10000m：29分32秒 ⑤誰かに憧れられるような人になる



Ritsuya Yoshida
医療技術学部スポーツ医療学科
京都外大西高／京都府
166cm／51kg
①横の繋がりが良いところ ②一昔前の映画、ドラマを観る ③継続は力なり ④5000m：14分29秒 10000m：32分05秒 ⑤箱根駅伝で好走する



Sora Masuda
医療技術学部スポーツ医療学科
小豆島高／香川県
181cm／61kg
①横の繋がりが良いところ ②1日分のビタミン12粒を飲むこと ③旅の恥はかき捨て ④5000m：14分44秒 10000m：-分・秒 ⑤5000mを13分台で走る



Hiroto Hino
医療技術学部スポーツ医療学科
札幌山の手高／北海道
173cm／59kg
①明るく、にぎやかなところ ②マインクラフト ③継続は力なり ④5000m：14分59秒 10000m：-分・秒 ⑤箱根駅伝優勝のメンバーに入る



Yuki Sakai
医療技術学部スポーツ医療学科
西脇工業高／兵庫県
166cm／56kg
①タイムが平均的なところ ②ハンドスピナー ③思い描いて夢叶う ④5000m：14分31秒 10000m：-分・秒 ⑤箱根駅伝優勝



Takahiro Yoshino
経済学部経営学科
東海大学望星高／神奈川県
182cm／50kg
①明るいところ ②フルグラを食べること ③世の中はフェアであるはずがない ④5000m：14分31秒 10000m：30分04秒 ⑤自分の弱点を強さに変えること



Naoyuki Nakajima
経済学部経営学科
市立松戸高／千葉県
182cm／75kg
①何事にも真摯に取り組んでいるところ ②ランニング ③限界を決めない ④5000m：-分・秒 10000m：-分・秒 ⑤箱根駅伝をより多くの人に届けたい



Atsuto Shimanuki
医療技術学部スポーツ医療学科
市立柏高／千葉県
173cm／56kg
①みんな仲が良いところ ②GENERATIONS ③変わることを恐れるな ④5000m：14分12秒 10000m：29分33秒 ⑤箱根駅伝区間5位以内!!



Tomohiro Oka
医療技術学部スポーツ医療学科
日立工業高／茨城県
162cm／48kg
①くだらないことでもみんなで笑えるところ ②わーすた、リバーサル ③気合いが一番 ④5000m：14分38秒 10000m：31分27秒 ⑥打倒、田村岳士!!

プライベートルーム

部屋には何を飾っても自由。副寮長は好きなアニメキャラのフィギュアを……。



部屋のドアには目標設定シートなどが貼られている。



部員たちが過ごすプライベートルームは、二人部屋。ここでは寮長と副寮長の部屋をそれぞれ紹介しよう。部屋毎に部員のカラーが出ていて面白い。

暮らしを快適にするための設備の数々



自転車移動の多い部員のための駐輪場や、駅伝の情報収集などに使えるマガジンラックなども完備。箱根駅伝までの残り日数を伝える手作りの日めくりカレンダーも。

陸上競技場も紹介

2015年9月に新設された陸上競技場をご紹介します。隣接するプレハブには、更衣室や教員控室もある。

陸上競技場



400×6レーンのトラックは、グリップ力、衝撃吸収力、反発力に優れた材質「スーパーX」を使用。

更衣室



トレーニング後はシャワールームで汗を流してから帰る。



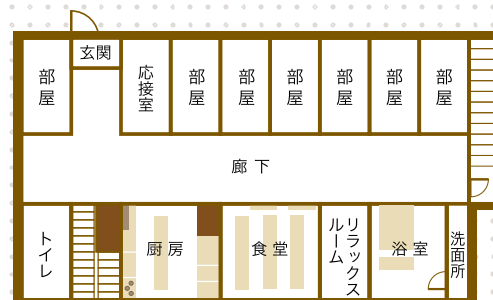
更衣室には、ウェイトトレーニングの機材やランニングマシンも置かれる。

教員控室



駅伝競走部の 合宿所生活

大学キャンパスからも陸上競技場からも徒歩10分圏内という恵まれた立地。駅伝競走部の合宿所は、選手だけで管理されている。寮長の吉田将人と副寮長の田中祐次に各部屋を案内してもらった。



1F



冷蔵庫には、部員それぞれが買った食材や飲料が入っている。上級生、下級生問わず利用することができる。冷凍庫には、冷凍にしたご飯が詰め込まれている。



食堂&厨房

最大24人席の食堂は、フリースペースとして利用する部員も多い。スポーツ医科学センターから支給された弁当を食べることも。広々とした厨房もいつでも使用可能。業務用冷蔵庫や調理器具も揃っており、料理上手な部員は自炊をすることもある。



浴室



浴室は、一度に5～6人が利用できる大きさ。浴槽に足を伸ばして、日々の疲れをしっかりと取る。脱衣スペースには洗面台も用意されている。

リラックスルーム



マッサージベッドやバランスボールなど、トレーニングで疲れた身体を癒す機材が揃う。選手同士で、マッサージを行うこともあるそう。

応接室



箱根駅伝で着用するユニフォームや、出場記念写真が飾られる応接室。お客さんが訪れた際の来客用の部屋。

寮長の仕事は、合宿所内の規律を守ること。吉田はこんなことに気をつけているようだ。「門限が22時なので、それまでに帰ってきているかの確認をしたり、掃除をしているかのチェックなどを行います」さらに調味料を集めたり、落し物の管理など、寮長と副寮長の仕事は意外と多い。「SNSの使用には細心の注意を払う」などの寮則も毎年決める。安全な合宿所を運営できるように管理することが二人の仕事だ。

チームワークをより深めるために最低限の規律を守るリーダー

各クラブを3方面から支える トータルサポートシステム Total Support System



メディカルサポート Medical Support

メディカル部門では、臨床の第一線で活躍するスポーツドクターが、迅速な対応と最先端の医療提供を実現。練習・試合・合宿への同行など、選手との日常的な関わりを通してスポーツ傷害の早期発見・予防を行います。また、帝京大学医学部附属病院はもちろんのこと、全国の医療機関と連携し、選手の診療にあたっています。



サイエンスサポート Science Support

サイエンス部門では、選手に関するデータの測定・分析を実施。それらを検証することで、科学的根拠に基づく新しい測定法・評価法の開発を行っています。



フィジカルサポート Physical Support

●栄養
栄養グループは管理栄養士により構成され、各測定や調査に基づく個々の栄養状態から競技特性を考慮したうえで、コンディション維持・向上を目的とした栄養サポート(栄養指導、食教育、食事提供等)を行っています。



●トレーナー
トレーナーグループにはアスレチックトレーナーとフィジカルコーチが所属し、選手に対する傷害の予防とコンディショニング、スポーツ傷害からの早期復帰支援などの専門業務に加え、選手の自立を促す活動に取り組んでいます。



■ トレーニング施設も充実



最新のトレーニング機器が揃っています。マシンは自由に使用できるので授業の合間に自主トレに取り組む選手も多くいます。

新センター棟を建設中

これまで学内外のアスリートの支援活動などを通して多くの成果を生み出してきましたが、その機能をより深化させるため、八王子キャンパス内に同センター棟の新築を計画しました。

新しいセンターは、地上5階建てで9,000㎡以上の床面積を有し、研究室の他にメディカルチェックルーム、各種リハビリ施設、測定エリアや物理療法室を備えたトレーニング施設、アリーナおよび食堂などを配置した、充実した機能となるよう計画しています。

新しい拠点から多様なスポーツ医科学の情報発信をさらに進め、教学研究の充実とともに広く社会貢献をめざしてまいります。



完成予想図

スポーツ科学をさらに究め、
学生を安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは各クラブを「メディカル」「サイエンス」「フィジカル」の3方面から、スポーツ傷害の予防と治療の発展、パフォーマンスの向上および、スポーツを支える人材育成などを目的に2011年に設立されました。学生がより安全に、より健康に、より強くなるよう日々取り組み、サポートしています。

2016年後半～2017年前半の主な大会記録

2016年10月16日(日)

第41回高島平・日刊スポーツ・ロードレース

高島平周回5kmコース

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
平田 幸四郎	1年	1:00:56	20km	8位	初/入賞
政光 瑛	1年	1:02:17	20km	23位	初
田中 祐次	3年	1:02:29	20km	30位	
大塚 瑞季	2年	1:02:40	20km	32位	
沖 成仁	3年	1:02:44	20km	34位	自己新
齋藤 楨	2年	1:03:06	20km	41位	自己新
後藤 佑太朗	1年	1:03:11	20km	43位	初
家永 聖矢	4年	1:03:23	20km	45位	自己新
中江 颯一朗	1年	1:03:29	20km	50位	初
田村 丈哉	1年	1:03:53	20km	57位	初
仁平 翔	2年	1:04:08	20km	61位	自己新
幸崎 一聖	2年	1:04:16	20km	62位	自己新
砂賀 正輝	2年	1:04:27	20km	66位	自己新
平本 駿椰	2年	1:04:47	20km	68位	自己新
渡辺 貴裕	3年	1:04:54	20km	70位	
岡 智洋	1年	1:05:06	20km	71位	初
橘高 健一	2年	1:05:22	20km	73位	自己新
長瀬 凌太	3年	1:05:33	20km	75位	
井手 優太	2年	1:07:45	20km	84位	自己新

2017年2月5日(日)

第41回中日浜名湖一周駅伝競走大会ファイナル

鏡山寺温泉前発着コース(静岡)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		2:35:40	総合51.5km	第2位	大会新
竹下 凱	2年	27:22	1区9.2km	区間賞	区間新
濱川 駿	2年	37:07	2区12.4km	区間賞	区間新
幸崎 一聖	2年	28:11	3区9.2km	区間5位	
島貫 温太	1年	30:04	4区9.7km	区間5位	
岩佐 忋誠	1年	32:56	5区11.0km	区間賞	
名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学A		2:37:42	総合51.5km	第5位	入賞
佐藤 諒太	3年	27:30	1区9.2km	区間4位	区間新
井田 湧希	3年	37:51	2区12.4km	区間5位	
平田 幸四郎	1年	27:53	3区9.2km	区間3位	
吉田 堯紀	1年	30:01	4区9.7km	区間3位	
田村 岳士	1年	34:27	5区11.0km	区間6位	

2017年3月5日(日)

第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会

兼第29回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考競技会

陸上自衛隊立川駐屯地、国営昭和記念公園及びその外周道路

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
岩佐 忋誠	1年	1:03:19	ハーフマラソン	12位	自己新
畔上 和弥	2年	1:03:34	ハーフマラソン	15位	自己新
竹下 凱	2年	1:03:53	ハーフマラソン	27位	自己新
濱川 駿	2年	1:03:58	ハーフマラソン	32位	自己新
佐藤 諒太	3年	1:04:00	ハーフマラソン	34位	自己新
平田 幸四郎	1年	1:04:33	ハーフマラソン	61位	自己新
新関 友基	2年	1:04:33	ハーフマラソン	63位	自己新
吉野 貴大	1年	1:04:59	ハーフマラソン	89位	
横井 裕仁	2年	1:05:19	ハーフマラソン	109位	
島貫 温太	1年	1:05:26	ハーフマラソン	115位	自己新
幸崎 一聖	2年	1:05:27	ハーフマラソン	118位	自己新
沖 成仁	3年	1:05:33	ハーフマラソン	126位	
井田 湧希	3年	1:05:36	ハーフマラソン	129位	自己新
渡辺 貴裕	3年	1:05:53	ハーフマラソン	159位	自己新
仁平 翔	2年	1:06:39	ハーフマラソン	233位	自己新
平本 駿椰	2年	1:06:40	ハーフマラソン	235位	
大塚 瑞季	2年	1:06:44	ハーフマラソン	239位	
政光 瑛	1年	1:06:46	ハーフマラソン	241位	自己新
吉田 将人	3年	1:07:02	ハーフマラソン	270位	自己新
田村 丈哉	1年	1:07:29	ハーフマラソン	310位	
小林 万修	1年	1:07:39	ハーフマラソン	327位	
橘高 健一	2年	1:07:47	ハーフマラソン	345位	
後藤 佑太朗	1年	1:07:52	ハーフマラソン	350位	初
岡 智洋	1年	1:07:58	ハーフマラソン	366位	
阿部 有希	2年	1:08:24	ハーフマラソン	412位	初
井手 優太	2年	1:08:47	ハーフマラソン	448位	
中江 颯一朗	1年	1:08:53	ハーフマラソン	461位	自己新
幸村 亮太	3年	1:08:57	ハーフマラソン	466位	初
高村 敦史	2年	1:12:57	ハーフマラソン	711位	

2017年4月2日(日)

第33回日本平桜マラソン

静岡県草薙陸上競技場発着コース

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
田中 祐次	4年	1:14:47	23.5km	2位	初/入賞
井田 湧希	4年	1:17:16	23.5km	12位	初
吉田 将人	4年	1:17:26	23.5km	13位	初

2017年5月25日(木)～28日(日)

第96回関東学生陸上競技対校選手権大会

日産スタジアム(神奈川)

■1日目 5月25日(木)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
田村 岳士	2年	3:53.29	1500m	予選1組2着	決勝進出
齋藤 楨	3年	3:52.77	1500m	予選3組5着	
幸村 亮太	4年	3:53.20	1500m	予選4組3着	
田村 岳士	2年	3:56.05	1500m	決勝11着	
佐藤 諒太	4年	29:15.71	10000m	決勝12着	自己新
岩佐 忋誠	2年	29:48.60	10000m	決勝24着	
小野寺 悠	1年	30:24.31	10000m	決勝33着	

■2日目 5月26日(金)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
鈴木 拓	1年	9:30.01	3000mSC	予選1組16着	
田村 丈哉	2年	9:06.92	3000mSC	予選2組4着	決勝進出
境 勇樹	1年	9:17.34	3000mSC	予選2組8着	

■3日目 5月27日(土)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
田村 丈哉	2年	9:02.60	3000mSC	決勝2着	2位入賞

■4日目 5月28日(日)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
畔上 和弥	3年	1:04:53	ハーフマラソン	決勝4位	4位入賞
横井 裕仁	3年	1:06:40	ハーフマラソン	決勝10位	
吉野 貴大	2年	1:08:02	ハーフマラソン	決勝29位	
竹下 凱	3年	14:25.11	5000m	決勝15位	
島貫 温太	2年	14:27.05	5000m	決勝16位	
星 岳	1年	14:36.70	5000m	決勝22位	

2017年6月9日(金)～11日(日)

2017日本学生陸上競技個人選手権大会

Shonan BMWスタジアム平塚(神奈川)

■1日目 6月9日(金)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
齋藤 楨	3年	3:50.08	1500m	予選1組4位	決勝進出
幸村 亮太	4年	3:58.36	1500m	予選2組7位	
齋藤 楨	3年	3:51.13	1500m	決勝6位	6位入賞

■2日目 6月10日(土)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
谷村 龍生	1年	14:22.56	5000m	TR決勝 1組3位	自己新
齋藤 楨	3年	14:48.29	5000m	TR決勝 1組15位	

■3日目 6月11日(日)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
境 勇樹	1年	9:14.19	3000mSC	TR決勝 2組8位	
田村 丈哉	2年	8:59.73	3000mSC	TR決勝 3組4位	4位入賞

2017年6月18日(日)

秩父宮賜杯第49回全日本大学駅伝対校選手権大会

関東学生陸上競技連盟推薦校選考会

さいたま浦和駒場スタジアム

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		3:58:34.22		第6位	本戦出場
竹下 凱	3年	29:49.97	10000m	1組10位	
田村 岳士	2年	29:56.91	10000m	1組14位	
島貫 温太	2年	30:16.74	10000m	2組4位	
濱川 駿	3年	30:23.88	10000m	2組15位	
星 岳	1年	29:30.08	10000m	3組15位	自己新
田中 祐次	4年	29:51.56	10000m	3組25位	
佐藤 諒太	4年	29:15.37	10000m	4組21位	自己新
畔上 和弥	3年	29:29.71	10000m	4組24位	

(学年は開催当時／記録の単位は、分：秒。ロードレース、ハーフマランについては、時間：分：秒)

帝京大学 歴代50傑

【5000m 歴代50傑】

は現役部員

順位	名前	タイム	大会名	場所	日付
1	柳原 貴大	13:50.45	第239回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2014.9.28
2	熊崎 健人	13:52.44	第236回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2014.4.13
3	北島 吉章	13:53.57	延岡記録会	西階陸上競技場	2000.5.3
4	戸村 将幸	13:54.70	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2003.9.23
5	西村 知修	13:55.00	第193回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2008.4.19
6	安藤 慎治	13:55.47	第89回関東学生陸上競技対校選手権大会	国立霞ヶ丘競技場	2010.5.23
7	中崎 幸伸	13:56.04	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000.4.29
8	谷川 嘉朗	13:57.34	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000.4.29
9	中村 亮太	13:57.36	第207回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2010.5.2
10	清水 健司	13:59.28	第185回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2007.4.15
11	久保 芳斗	14:02.26	第119回東海大学長距離記録会	東海大学浦南校舎陸上競技場	2009.4.18
12	井上 泰加彦	14:03.10	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2003.9.23
13	難波 幸貴	14:03.47	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2011.10.30
14	竹下 凱	14:03.89	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.7.9
15	姥名 聡勝	14:05.45	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2011.10.30
16	中尾 誠宏	14:05.67	第158回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2004.4.29
17	佐藤 拓也	14:05.87	第158回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2004.4.29
18	中尾 勇生	14:06.19	第82回関東学生陸上競技対校選手権大会	横浜国際総合競技場	2003.5.18
19	高橋 裕太	14:06.77	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2015.4.26
20	大脇 佑介	14:07.25	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2007.4.30
21	早川 昇平	14:07.40	第222回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2012.4.15
22	馬場 圭太	14:07.58	第197回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2008.9.28
23	佐藤 辰準	14:08.36	第197回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2008.9.28
24	酒井 将規	14:08.46	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2007.4.30
25	新関 友基	14:08.48	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.10.1
26	飛松 誠	14:08.80	第68回中央大学長距離記録会	中央大学陸上競技場	2002.10.6
27	大沼 睦	14:09.96	第209回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2010.6.13
28	安生 充宏	14:10.40	第104回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	1998.4.26
29	小田 浩数	14:10.48	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000.4.29
30	岩佐 忋誠	14:10.57	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.10.1
31	畔上 和弥	14:11.06	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.10.1
32	濱川 駿	14:11.21	出雲市陸協長距離記録会	浜山運動公園陸上競技場	2016.10.10
33	杉山 連哉	14:11.55	第1回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2014.4.5
34	佐藤 諒太	14:12.09	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.10.1
35	島貫 温太	14:12.84	第22回法政大学陸上競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2017.5.6
36	内田 直斗	14:13.30	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.10.1
37	赤木 翼	14:13.77	第5回国士館大学記録会	国士館大学多摩陸上競技場	2008.3.27
38	猪狩 大樹	14:13.89	第233回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2013.10.27
39	宇佐美 聖也	14:13.96	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016.10.1
40	星 岳	14:14.09	第256回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2017.4.23
41	香川 竜一	14:14.16	第214回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2011.4.17
42	小山 司	14:14.23	第6回国士館大学競技会	国士館大学多摩陸上競技場	2013.10.6
43	祝田 守	14:14.34	第178回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2006.4.29
44	加藤 勇也	14:14.45	第8回法政大学競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2015.5.6
45	園田 武	14:14.80	東京陸協日本記録挑戦記録会	代々木公園陸上競技場	1998.5.23
46	高松 伸伍	14:16.02	第6回国士館大学競技会	国士館大学多摩陸上競技場	2012.10.7
47	平田 幸四郎	14:16.13	出雲市陸協長距離記録会	浜山運動公園陸上競技場	2016.10.10
48	市川 英樹	14:16.20	東京陸協日本記録挑戦記録会	代々木公園陸上競技場	1998.5.23
49	宗 洋和	14:16.30	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学鎌志台陸上競技場	2003.9.23
50	高橋 勝哉	14:16.37	第6回国士館大学競技会	国士館大学多摩陸上競技場	2012.10.7
50	中西 健太	14:16.37	第6回国士館大学競技会	国士館大学多摩陸上競技場	2012.10.7

(記録の単位は、分：秒)

【10000m 歴代50傑】

は現役部員

順位	名前	タイム	大会名	場所	日付
1	高橋 裕太	28:37.20	10000m記録挑戦競技会	豊澤豊聖大学日吉陸上競技場	2015.11.21
2	熊崎 健人	28:40.20	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013.11.23
3	中崎 幸伸	28:40.77	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2000.9.30
4	蛭名 聡勝	28:42.90	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012.11.24
5	田中 健人	28:45.03	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012.11.24
6	小山 司	28:45.24	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013.11.23
7	谷川 嘉朗	28:45.43	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2000.9.30
8	戸村 将幸	28:49.04	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2003.9.27
9	中村 亮太	28:49.20	第206回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2010.4.17
10	柳原 貴大	28:50.33	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013.11.23
11	北島 吉章	28:55.79	第32回全日本大学駅伝予選会	湘泉市立陸上競技場	2000.6.10
12	杉山 連哉	29:06.61	第62回兵庫リレーカーニバル アシックスチャレンジ	ユニバー記念競技場	2014.4.19
13	安藤 慎治	29:08.41	第207回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2010.5.1
14	竹下 凱	29:10.82	秋友宮郷杯第48回 全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会	浦和駒場スタジアム	2016.6.18
15	清水 健司	29:12.01	第191回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2007.12.2
16	難波 幸貴	29:12.10	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012.11.24
17	堤 悠生	29:12.54	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2015.4.25
18	早川 昇平	29:12.80	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012.11.24
19	喜多 健一	29:12.97	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2000.9.30
20	酒井 将規	29:15.27	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2007.4.29
21	佐藤 諒太	29:15.37	秋友宮郷杯第49回 全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会	浦和駒場スタジアム	2017.6.18
22	馬場 圭太	29:15.75	10000m記録挑戦競技会	国立霞ヶ丘競技場	2006.11.25
23	飛松 誠	29:17.30	第139回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2002.5.3
24	猪狩 大樹	29:17.58	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2013.11.23
25	畔上 和弥	29:17.60	第256回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2017.4.22
26	高橋 勝哉	29:18.27	第237回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2014.4.26
27	内田 直斗	29:19.48	The 2nd Juntendo Distance	順天堂大学さくらキャンパス 陸上競技場	2016.11.19
28	岩佐 亅誠	29:19.54	第256回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2017.4.22
29	竹本 紘希	29:19.89	第241回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2014.11.15
30	久保 芳斗	29:20.37	第40回全日本大学駅伝予選会	代々木公園陸上競技場	2008.6.22
31	君島 亮太	29:21.45	第241回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2014.11.15
32	佐藤 拓也	29:22.08	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2003.9.27
33	山川 雄大	29:22.33	第222回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2012.4.14
34	加藤 勇也	29:23.84	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2015.4.25
35	西村 知修	29:23.87	10000m記録挑戦競技会	国立霞ヶ丘競技場	2009.11.28
36	梅津 毅	29:24.90	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2007.4.29
37	桑山 和久	29:25.40	第104回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	1998.4.26
38	菅野 利哉	29:25.90	第112回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	1998.12.6
39	平 敏治	29:27.30	第82回関東学生陸上競技対校選手権大会	横浜国際総合競技場	2003.5.16
40	中尾 誠宏	29:28.64	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2003.9.27
41	清野 祥啓	29:28.98	湘泉ナイター陸上	湘泉市立陸上競技場	2001.9.29
42	赤木 翼	29:30.00	第3回順天堂大学競技会	順天堂大学陸上競技場	2008.5.3
43	星 岳	29:30.08	秋友宮郷杯第49回 全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会	浦和駒場スタジアム	2017.6.18
44	阿南 堅也	29:31.23	第236回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2014.4.12
45	山中 康司	29:31.86	10000m記録挑戦競技会	国立競技場	2012.11.24
46	横井 裕仁	29:32.16	第256回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2017.4.22
47	小田 鎌徳	29:32.70	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2007.4.29
48	三田 和矢	29:33.21	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2011.10.29
49	岡田 洋輔	29:33.37	第198回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2008.10.25
50	小野寺 悠	29:33.57	第256回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学墨台陸上競技場	2017.4.22



大ホール(1000人収容)
1000名を収容できる大ホールでは、一度に多くの学生が有意義な講義が受けられます。



**小ホール
(500人収容)**



ACT Two(情報学習室)
ACT(Active Learning&Creative ToolBox)では、グループ学習など多様な学習スタイルへの対応、マルチメディア設備の充実を図り、学生の主体的な学習をサポートしています。
※ACT Oneは、MELIC 2階にあります。



メディアライブラリーセンター(MELIC)
蔵書75万冊、1800席の快適な読書・学習空間。PCステーション、グループ学習室は、多くの学生がレポート作成やグループワークに活用しています。



キャリアサポートセンター
キャリアサポートセンターでは、「就業力育成」「生涯サポート」「キャリアデザイン演習」という、大学トップレベルのキャリア形成支援プログラムで個々の学生のキャリア実現をサポートしていきます。



一般教室
教員と学生の一体感を持った授業展開が可能な教室となっています。



総合博物館
帝京大学総合博物館では、大学の歴史や多摩地域の自然を写真や実物資料、映像を交えて展示する常設展示コーナーと、短期間で展示内容が変化する企画展示コーナーの展示を楽しむことができます。

「自分流」で学べる10学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科 / 国際経済学科 / 地域経済学科 / 経営学科 / 観光経営学科
- 【法学部】法律学科 / 政治学科 【文学部】日本文学科 / 史学科 / 社会学科 / 心理学科
- 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科 / 初等教育学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科 / 航空宇宙工学科 / 情報電子工学科
バイオサイエンス学科 / 情報科学科 (通信教育課程)
- 【医療技術学部】視能矯正学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 臨床検査学科
スポーツ医療学科 / 柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科 / 作業療法学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 医療技術学科

全国に広がる5つのキャンパス

八王子キャンパス / 板橋キャンパス / 宇都宮キャンパス / 福岡キャンパス / 霞ヶ関キャンパス

帝京大学駅伝競走部 イヤーブック2017

2017年9月発行

編集：出川啓太 (株式会社インプットワークス)
撮影：志賀由佳 樹元清香 八木竜馬
写真提供：中村和也 (帝京スポーツ新聞部)
デザイン：竹谷 豊 (株式会社インプットワークス)
進行管理：株式会社アドフロンテ
発行：帝京大学本部広報課 東京都板橋区加賀2-11-1

本誌掲載記事、写真等の無断複写・複製・転載を禁じます。
©TEIKYO UNIVERSITY 2017



帝京大学

<http://www.teikyo-u.ac.jp>

帝京大学
駅伝競走部公式
ホームページ

最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<http://ekiden.teikyouuniv.jp/>

帝京大学 駅伝競走部

検索



ソラティオ スクエア 「SORATIO SQUARE」 宙 × 理性 = 可能性 SORA RATIO

SORATIOとは、果てしない大空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「SORA(宙)」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語で、帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また、高層部・低層部から成る建物群をSQUARE(広場)として捉え、「SORATIO SQUARE(ソラティオ スクエア)」と名付けました。

NEW HACHIOJI CAMPUS

八王子キャンパス校舎棟
「SORATIO SQUARE」

駅伝競走部の部員
全員が学ぶ

最新施設と設備で 充実した学びの環境を提供

帝京大学八王子キャンパスのリニューアルで誕生した校舎棟「SORATIO SQUARE」は、地下2階、地上22階で免震構造を採用し、省エネにも配慮した校舎です。

また、多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体的にデザインすることにより、帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表現しています。
駅伝競走部の部員の全員がこのキャンパスで学んでいます。



アカデミックラウンジ
イベントや交流の場としてさまざまな用途に活用できる多目的スペースです。



エントランスホール
ソラティオ スクエアの名に相応しい6階の高さの吹き抜けは広々として開放感に満ち溢れています。



I 期

2015年5月完成

一般教室のほか、音楽室や模擬授業室等の各種実習室やアクティブラーニング教室を設置。一般教室では、教員と学生が一体感を持った授業を展開するため、少人数制の教室を90室程度設置しました。また、グループ学習室を備えた、常設PC設置空間を作り、学生の主体的な学びを支えています。さらに、女性専用ラウンジや地下1階には総合博物館を開館しました。

II 期

2017年11月完成予定 (2018年4月 使用開始予定)

一般教室のほか、1000名を収容できる大ホールや座席数1000以上の学生食堂を設置します。また、観覧席を備えたアリーナは、バスケットボールコート、バレーボールコート等を設置する予定です。

